

「丸玉木材森づくり基金」を活用して森林を整備しています

愛林のまちなりの緑豊かな自然環境を次の世代に引き継ぎ、ふるさとつべつの森林資源の造成と保全や未立木地対策を図るため、平成20年度から丸玉木材株式会社よりいただいている寄附を原資として「丸玉木材森づくり基金」を設置し、現在、町単独補助制度として取り組んでいる「愛林のまち緑資源を守る推進事業」の財源の一部として運用し、造林や森林の手入れを進めています。

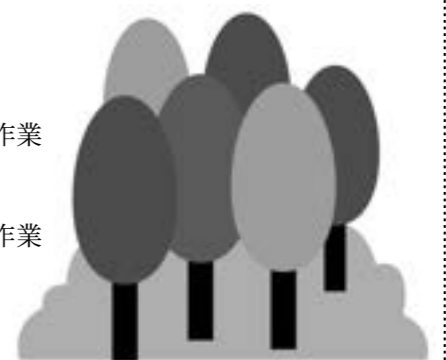
《令和元年度及び累計の実績は以下のとおりです》

事業種	令和元年度		累計（平成20年度～令和元年度）	
	面積 (ha)	助成金額 (千円)	面積 (ha)	助成金額 (千円)
造林事業	137.73	9,036	1,178.67	78,768
保育	下刈	286.77	3,056.08	38,897
	除伐	85.94	766.41	12,534
	間伐	42.30	1,057	231.20
野鼠駆除	806.60	807	9,476.11	9,476
林地流動化	5.09	51	96.82	968
合計	1,364.43	15,471	14,805.29	146,260
基金充当額		10,426		64,987

※造林事業は雪害等における被害木の整理を含みます。

「愛林のまち緑資源を守る推進事業」助成内容

- 1. 造林事業**
町内の標準造林事業費の97%（森林病虫害の被害による再造林の場合は98%）を上限として補助する金額とし、実行経費が標準事業費を下回った場合はその額とする。
※ 地ごしらえ（伐採跡地の整地）、苗木の植え付け
- 2. 下刈（1回刈）全刈～8,000円/ha・（2回刈）全刈～24,000円/ha**
※ 植栽した苗木の生育を妨げる雑草や灌木を刈り払う作業
- 3. つる切り・除伐 ～18,000円/ha**
※ 育成の対象となる樹木の生育を妨げる他の樹木や、つるを刈り払う作業
- 4. 初回間伐 ～25,000円/ha**
※ 育成の対象となる樹種の混み具合に応じて、一部の樹木を伐採する作業
- 5. 野鼠駆除 ～1,000円/ha**
※ 植栽木の野ねずみによる食害を防ぐための薬剤散布
- 6. 林地流動化対策事業**
造林を目的に山林を購入し、造林を行ったものに対し、林地流動化助成金として10,000円/haを上限に標準地価相当額を交付する。



問い合わせ先 産業振興課 林政係 ☎76-2151(内線260)

地方創生の取り組み 37

地方暮らしへの関心が高まる

今年、内閣府が実施した調査において、東京圏在住者の約半数が、さらに地方出身者に限れば6割強が、「地方暮らしに関心を持っている」という結果が示されました。

一方で、地方圏出身の20代、30代が地元に戻らない理由として、男女共通で「コミュニティが狭すぎる」と、女性特有の理由として「帰りたいのに、地元の価値観（女性への偏見等）になじめない」といった調査結果が示されています。若者たちをそっと見守ってあげることが、地元に戻りたいと思えるまちづくりの第1歩なのかもしれません。

ふるさと納税型ガバメントクラウドファンディングが終了しました

6月末より受付を開始しました、ふるさと納税型ガバメントクラウドファンディングが、9月23日を持ち受け期間が終了となりました。

コロナ禍で苦境に立たされた町民や事業者を支援したいという思いから始まった本プロジェクトですが、最終的に集まった寄附金額は約100万円となりました。集まった寄附金は、現在町内で実施されているお買い物割引券発行事業に活用してまいります。



▶お買い物割引券発行事業

クラウドファンディングとは、インターネット等のサイトで資金を必要とするプロジェクトを提示し、そのプロジェクトに対してお金の使用道等に共感した方々から寄附を募る仕組みです。

一方、ガバメントクラウドファンディングとは、自治体がふるさと納税の枠組みの中で行うクラウドファンディングを指します。

「コロナ禍の影響を受けた津別町を救いたい!」「津別町が行っているコロナ禍対策事業に共感した!」そういった町外の方々の思いに支えられながら、今日のコロナ禍での町内支援事業が行われていきます。

また、町では、ふるさと納税の寄附金を、こども園の給食費支援や小中学校の設備投資など、毎年様々な事業に活用しています。ふるさと納税を通じて津別町を応援してください。ふるさと納税に、これからは「応援したい!」と応援いただけるように、PRに努めてまいります。町民の皆様にも、町外にお住いのご家族やご親戚、ご友人に、津別へのふるさと納税を呼びかけていただければ幸いです。

第2回市街地総合再生基本計画推進協議会が開催されました

- ① 優良建築物等整備事業の状況について
- ② 敷地の利用形態について
- ③ 事業者への支援の在り方について
- ④ 公共部分と民間部分の併設について



▶協議会の様子

10月19日に第2回協議会を一般公開形式で開催し、24名の方に傍聴いただきました。今回の会議では、前回の協議会からの経過について説明したのち、下記5点の検討課題について事務局より説明し、議論を行いました。

⑤ アンテナショップの在り方について
協議会としての方向性を示すには、もう少し時間が必要との意見が多く、資料を整え、再度検討を行うこととなりました。

《津別町空き家バンクの利用状況》

※9月末現在

・登録物件数		
建物	貸したい	8件
	売りたい	14件
土地	貸したい	0件
	売りたい	17件
・物件を探している登録者数		
建物	借りたい	26名
	買いたい	38名
土地	借りたい	0名
	買いたい	1名

登録物件の詳細は下記ホームページをご覧ください。

<https://www.tsubetsu-estate.com/>

【問い合わせ先】

北海道つべつまちづくり株式会社
移住・定住サポートデスク ☎77-6081